

## ■□要旨■□

## 1. リーダーとリーダーシップ

- ・リーダーシップとは、リーダーとして上に立ち指示を出す能力であり、リーダーに必要な要件。
- ・リーダーシップは、天に与えられた資質ではなく、体得できるもの。

## 2. リーダーシップの定義

- ・目的があり、その目的に向けて自分の持っている手腕を、チームが邁進するように影響力を行使すること。

## 3. リーダーシップの構成要素

- ・ビジョンの形成……「ここに行く」という明らかなビジョンの提供
- ・コミュニケーション……ビジョンを仲間に伝える力
- ・率先垂範……ビジョンに向けてまず自分が動く
- ・決断力……問題が生じたときどちらに行くかを決める
- ・人格……仲間に対する人間力、温情、ユーモア

## 4. リーダーシップ体得に向けて

- ・リーダーシップの構成要素について、自分の苦手なところ、得意なところをよく知る。
  - － ゲストのリーダーシップを観察し、自分の行動と比較することで自分を知る。
  - － 塾生みんなのリーダーシップを共有する。
- ・「ここを伸ばしたい」という自分の目標をはっきり持つ。

## 5. 塾生のリーダーシップ発揮体験

- ・塾生①  
入社4年目、それまで何度か受注を落としていた海外営業プロジェクトのリーダーに。一念発起し、徹底した現地の調査などを実施。受注に結び付けることができ、自信がついた。  
→ リーダーシップは成功体験から身につく。
- ・塾生②  
東京証券取引所の上場審査において、担当役員の質疑に掛ける時間に対して意見した。受け入れられたのは、上場準備を進める中で役員の信頼を得られていたからと思料。  
→ 相手にとって聞きやすい話し方、コミュニケーション能力。

## 6. 塾長のリーダーシップ発揮経験

- ・その1  
社長が反対していたパソコンの商品化。自分は事業部550人を背負っている。このパソコンは、事業部には利益が出るが本社にまでは利益を出せない商品であったが、社長に説明し生産の承認を得た。
- ・その2  
中央研究所へのコンピューター導入。妥協したら技術本部全体が困る。自分が推奨する機種との競合機種を推す情報システム本部長の承認が必要となり、3度説明して了解を得た。  
→ 憎たらしく思われずに、こいつは信用できるという印象を与えた。

## ■□今回の学び ひとことという■□

リーダーシップは体得できるもの。まずは、リーダーシップを発揮している人の強い部分をよく観察し、自分の行動と比較して足りない部分を考え、自分をよく知ることから始める。次に、身につけたいこと、伸ばしたいところを目標としてはっきりさせる。リーダーシップの構成要素を行動パターンとして常には実践するとリーダーシップは身につく。



## ■□感想■□

リーダーシップ＝人間の魅力なのか、という議論では皆さん結構熱く語ってましたね。講義でリーダーシップの構成要素を分類しましたが、各要素の強弱がリーダーシップの個性をつくり、これを含めて人間の魅力になるのでしょうか。リーダーシップを磨けば魅力も磨ける。